NJK

排気型換気システム
ピアラ24　施工説明書

●取付け工事を行なう前に必ずこの説明書をよく読んで正しく設置して下さい。

安全のため必ずお守りください。

この説明書には、安全に正しく取り付けていただくために、いろいろな絵表示が記載されています。
その表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みになり取付け工事を行なってください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取付けをすると、人が死亡又は、負傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取付けをすると、人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ この記号は、注意を促す内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容が表記されています。

⃠ この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が表記されています。

❗ この記号は、行為を強制･指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容が表記されています。

●梱包を確認して下さい。

･配管部材キット



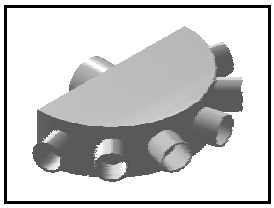
オリフィス（吸気グリル）×6



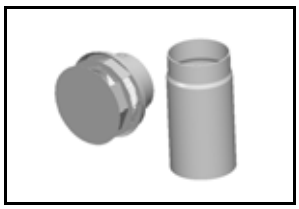
テクフレックス100　S
（100φ吸気ダクト）
10m/本×3



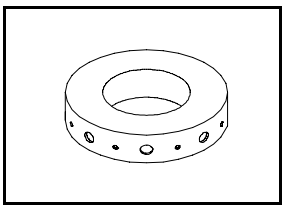
テクフレックス150
（150φ排気ダクト）
4m/本



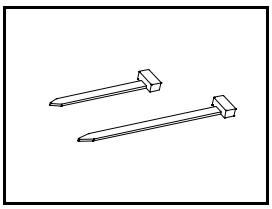
UチャンバーN150
（6分岐チャンバー）×1



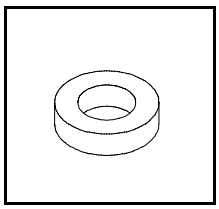
エアロビット150（壁排気フード）×1
異径パイプ×1



巻きバンド×1



ナイロンバンド100×20
ナイロンバンド150×10



配管用テープ×1

住まいの品質を考える
日本住環境株式会社

目次

・換気ファン本体（NJ－400DC）の取付け手順 …… 1

・チャンバー（UチャンバーN150）の取付け手順 …… 2

・換気ファン本体（ＮＪ－400ＤＣ）～テクフレックス150（ファン本体とUチャンバーN150間の吸気ダクト）～チャンバー（UチャンバーＮ150）～（※分岐管：Ｙ型チャンバーN）～吸気ダクト（テクフレックス100　S）の接続 …… 3

・換気ファン本体（ＮＪ－400ＤＣ）～テクフレックス150（150φ排気ダクト）～異径パイプ（ジョイントパイプ）～排気フード（エアロビット150）の納まり …… 3

・排気フード（エアロビット150）の取付け手順 …… 4

・吸気口（オリフィス）の取付け手順＜天井納まりの場合＞ …… 5

・吸気口（オリフィス）の取付け手順＜床面納まりの場合＞ …… 6

・吸気口（オリフィス）の取付け手順＜壁面納まりの場合＞ …… 7

・寸法図 …… 8～9

工事工程（例）

工事状況	工事項目
天井下地完了	工程1　ファン本体＜ＮＪ－400ＤＣ＞設置
	工程2　チャンバー＜UチャンバーN150＞取付け
	工程3　吸気ダクト＜テクフレックス100　S＞及び分岐管＜Ｙ型チャンバーＮ＞（※別売品）の施工、取付け
	工程4　排気ダクト＜テクフレックス150＞の施工
	工程5　給気口＜スクウェアフロー＞スリーブ管取付け ※（施工方法については、スクウェアフロー施工説明書をご覧下さい）
外壁工事完了	工程6　排気フード＜エアロビット150＞取付け
	工程7　給気口＜外ガラリ取付け＞ ※（施工方法については、スクウェアフロー施工説明書をご覧下さい）
内装工事完了	工程8　吸気口<オリフィス>取付け
	工程9　給気口＜スクウェアフロー＞室内側（フロントキャップ）取付け ※（施工方法については、スクウェアフロー施工説明書をご覧下さい）
	工程10　換気ファン＜ＮＪ－400DC＞電気配線

＜必要資材＞　・気密テープ・・・気密シール用　・防水テープ・・・防風層シール用
・シーリング（外壁材適合品）　・ビスΦ5mm－1本（1個所）

＜必要工具＞　・自在切り　・電気ドリル・⊕⊖　ドライバー　・カッター　・スケール
・のこぎり　・ニッパー　・ホルソー　など

注意

当施工説明書に記載してある工法は、各種の工法全てに合致しない場合がございますのでご注意下さい。
また、仕様については、予告なしに変更することがございますのでご了承下さい。

換気ファン本体（NJ－400DC）取付け手順

★換気ファン＜NJ－400DC＞

❗ファン本体梱包の中に別紙【工事説明書】が入っております。そちらをよくお読みのうえ、注意事項を守り取付けして下さい。

❗ファン本体梱包の中に別紙【取扱説明書（保証書付）】が入っておりますので、ファン本体に貼付するなどして確実に施主様へお渡し下さい。

❗ファン本体の改造および電気配線を本説明書通りに行なわない行為は、故障・事故の原因となるのでおやめ下さい。

① 開こん

ダンボール箱から換気ファンを取り出して下さい。

② 取付け

取付け場所の選定

●ファン本体は、ダクト工事や電気工事などの付帯工事が用意にできる場所を選んで下さい。

●ファン本体は、室内での気密断熱層の内側に取付けて頂くことをおすすめ致しますが、気密層を貫通する場合は、結露防止のために**ファン本体の断熱処理を必ず施して下さい。**

●ファン本体は、夏場などに高温になる恐れのある場所への取付けはおやめください。

換気ファン取付け

●ファン本体のビス穴寸法に合わせて壁取付け金具を取付けて下さい。

●取付け位置は、本体質量や振動に十分耐えられる丈夫な構造にして下さい。

⚠ 注意

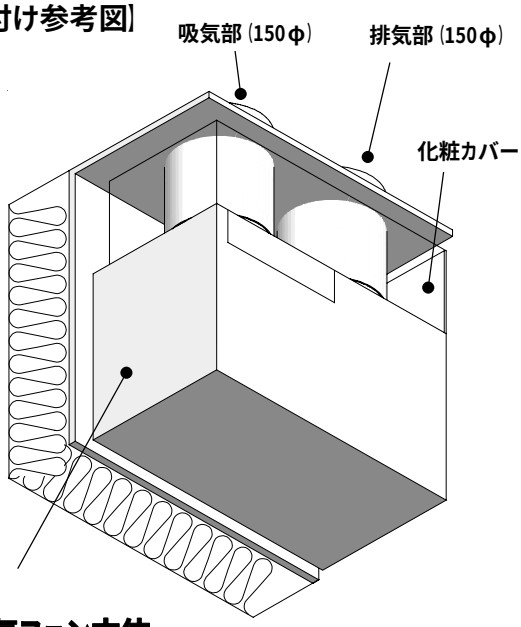
●ファン本体を設置するための壁取付け金具を設置する際は、取付け用受け材に十分強度があることを確認して下さい。

●ファン本体の設置位置は、寝室・居室などを避け、洗面所や、廊下などメンテナンスが容易にできる場所へ設置して下さい。

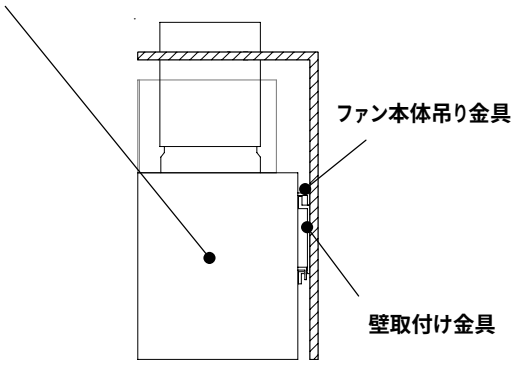
●天井を下げファン本体を設置する際は、照明器具・吊り戸棚等の取合いに注意して下さい。

●ファン本体を吊り戸棚等の中に設置する場合は、ファン本体を取り出せるだけの十分なスペースを確保して下さい。

【取付け参考図】



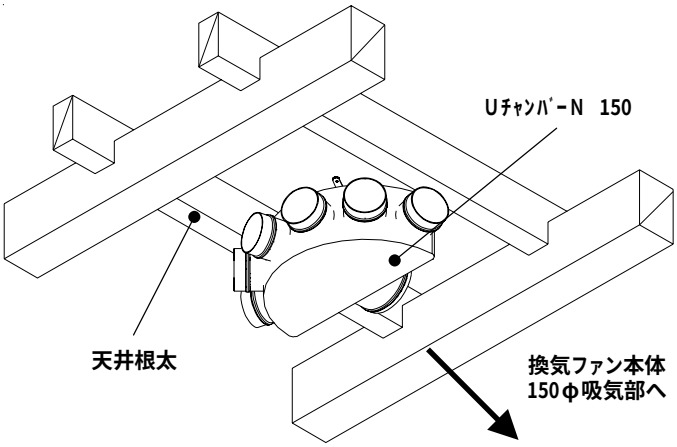
換気ファン本体



※その他、施工の詳細については、ファン本体（ＮＪ－400ＤＣ）に同梱の工事説明書をご参照下さい。

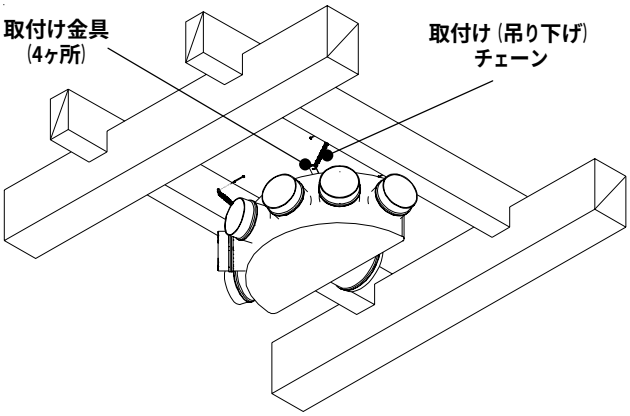
チャンバー（UチャンバーN150）取付け手順

①取り付け位置の確認



まず、チャンバーの取付け位置の確認をして下さい。その際、チャンバー排気部（150φ）部分から、ファン本体吸気部（150φ）のダクトの長さは1.5m以内を基準として下さい（吸気量低下防止の為）。

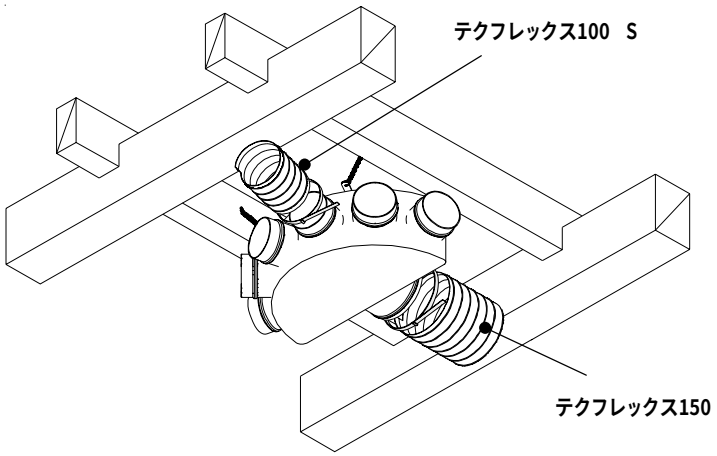
②取付け（吊り下げ）チェーンで天井根太に固定



チャンバー本体の取付け金具に取付け（吊り下げ）チェーンを通し、木ねじ（現場調達）で天井根太に固定して下さい。

※注）必ず4ヶ所を固定して下さい。また、野縁を組む前の施工を原則とします。

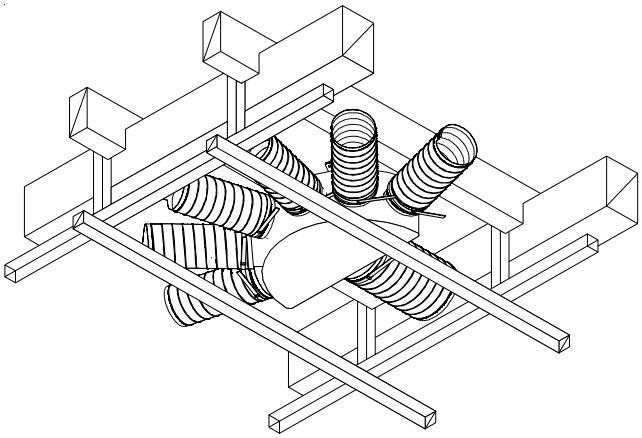
③UチャンバーN150とダクト（テクフレックス100　S）の接続



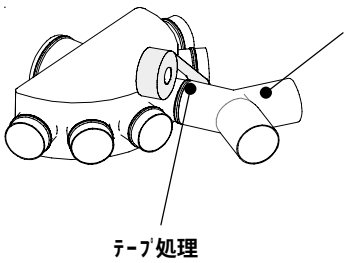
チャンバー本体とダクト（吸気部6ヶ所＝テクフレックス100　S
排気部1ヶ所＝テクフレックス150）の接続は、ダクト自体をチャンバーのリブのところまで十分にかぶせ、テープで止めつけ後、ナイロンバンドで固く締め付けて下さい。

※チャンバーの吸気部口元を使用しない箇所については、別売で“100φエンドキャップ”をご用意しております。

③UチャンバーN150取付け完了と野縁施工

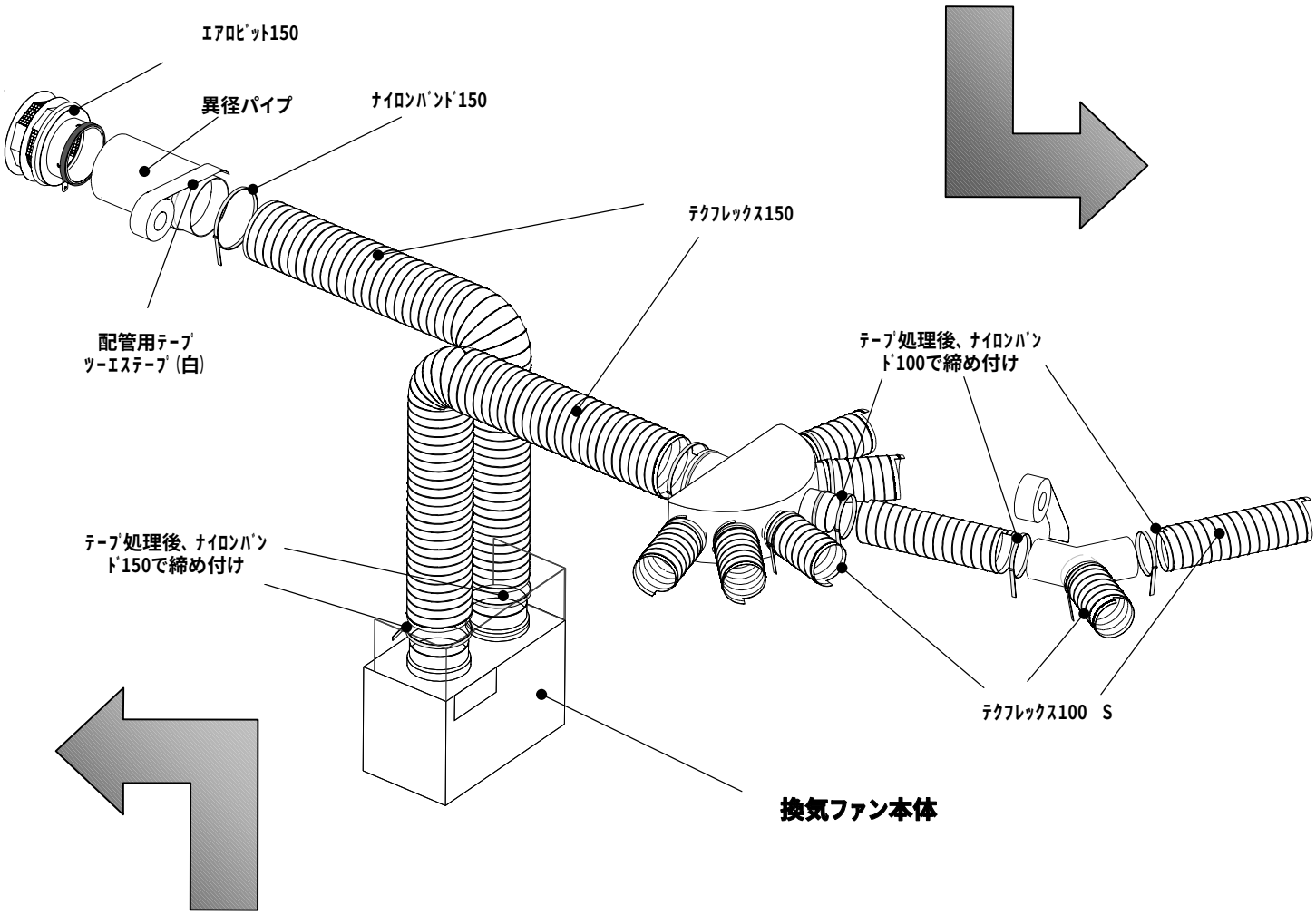


チャンバー本体と各ダクトの接続が終了してから、野縁を施工して下さい。



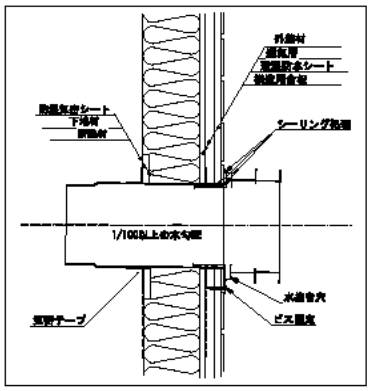
Y型チャンバーNをUチャンバーN150に直接差し込む方法や、UチャンバーN150からダクトを介し、Y型チャンバーNを取付け、分岐を増やす事もできます。

換気ファン本体（NJ－400DC）～テクフレックス150（ファン本体とUチャンバーN150間の吸気ダクト）～チャンバー（UチャンバーN150）～（※分岐管：Y型チャンバーN）～吸気ダクト（テクフレックス100　S）の－取付け手順



換気ファン本体（NJ－400DC）～テクフレックス150（150φ排気ダクト）～異径パイプ（ジョイントパイプ）～排気フード（エアロビット150）の納まり

排気フード（エアロビット150）の取付け手順



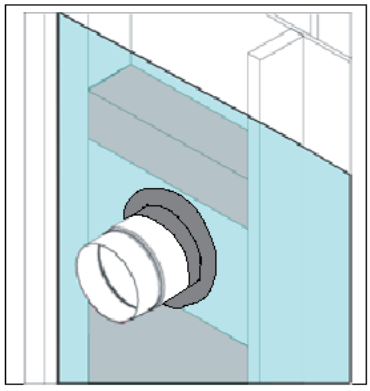
排気フードの施工上の注意点

・パイプの出寸法は、サイディング仕上げ面から3mm 程度出してください。

・パイプとサイディングの間に必ずシーリングを充てんしてください。

・エアロビットの躯体の外周にシーリングを盛り上げ、パイプを挿入してください。

・必要に応じビスで固定し、排気フードの外周を三角シーリングしてください。

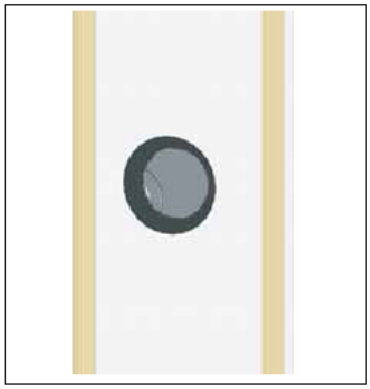


施工ポイント①
＜室内側＞

・排気フードの取付け位置に合板等の木下地を施工し、異径パイプ（塩ビ管）を取付けてください。

・断熱・気密層の貫通部は、気密テープ等で気密処理をしてください。

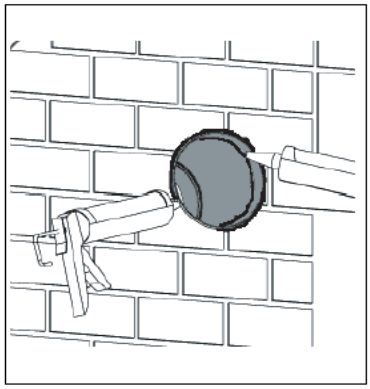
（弊社の気密簡素化部材、「ケルブ」、「ドームパッキン」をお勧めします。）



施工ポイント②
＜屋外側＞

・透湿防水シートの貫通部は、必ず防水テープを貼り、防水処理を施してください。

・外壁側へ1/100以上の水勾配をとってください。

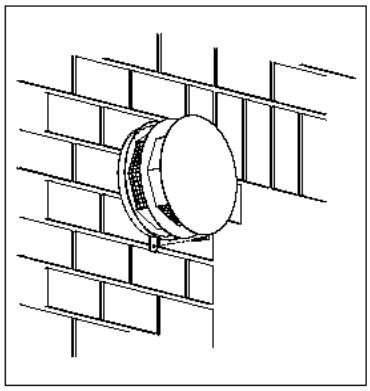


施工ポイント③
＜屋外側＞

・パイプの出寸法は、サイディング仕上げ面から3mm 程度出してください。

・パイプとサイディングの間に必ずシーリングを充てんしてください。

・シーリング材は柔軟性を保ち耐候性の高いものをご使用ください。

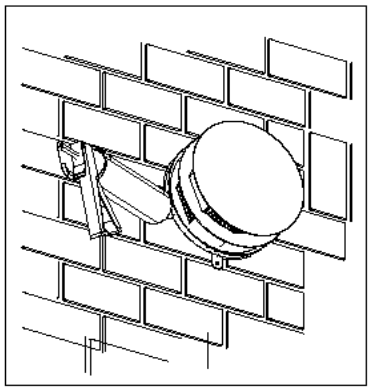


施工ポイント④
＜屋外側＞

・エアロビットの取付けの際、下図のように必ずガラリ枠を持って施工してください。

・ビス固定金具が下側になるように取り付けてください。

・必要に応じビスで固定してください。（ステンレスビスをご使用ください。現地調達）

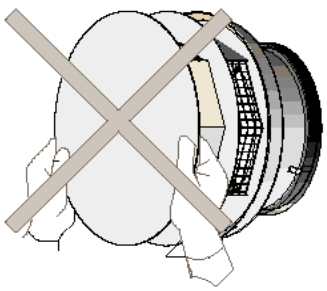


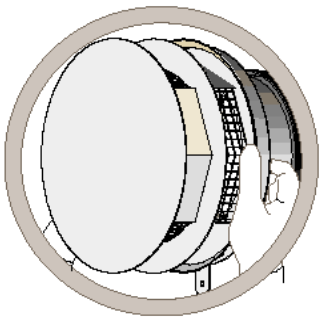
施工ポイント⑤
＜屋外側＞

・エアロビットのガラリ枠の外周を三角シーリングしてください。

⚠ 施工上の注意点

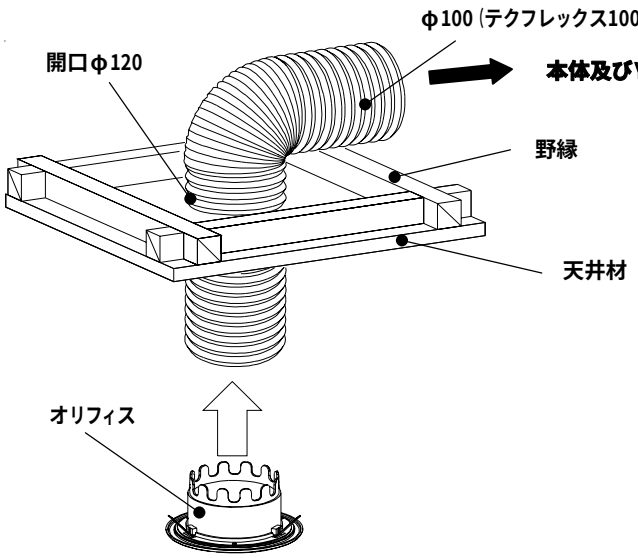
- 取り扱いの際は、必ず手袋を着用してください。（材料の切り口や角でケガをする事があります。十分ご注意ください。）
- シーリング材は柔軟性を保ち、耐候性の高いものをご使用ください。
- 排気フード本体は焼付塗装仕上げです。塗装面に化学薬品がつくと、剥離、変色、錆発生の原因となります。
  タイル仕上げの外壁に取り付ける場合、外壁の張換い後に取り付けてください。
  吹付塗装仕上げの外壁に取り付ける場合、吹付塗装後に取り付けてください。
- 外壁側へ1/100以上の下がり勾配をとってください。
- 取付の際、絶対に防風板を持たないでください。防風板の曲がり、破損、塗装剥離の原因となります。必ず鋼枠又はガラリ枠を持って施工してください。





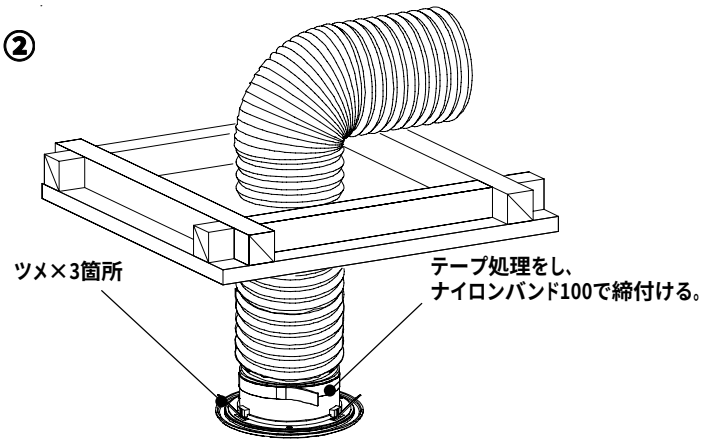
吸気口（オリフィス）の取付け手順＜天井納まりの場合＞

①



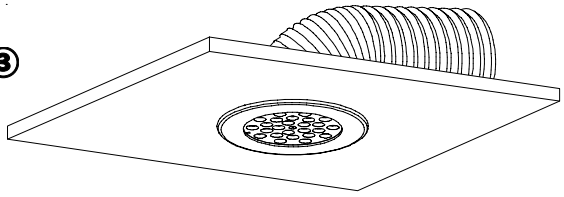
天張り後（クロス仕上げ後）
ボードにφ120mmの穴を
開けます。
開口からダクトを取り出して
オリフィスを取付けます。

②



オリフィスとダクト（φ100：テクフレックス
100　S）をテープで処理し、さらにその上
からナイロンバンド100で固く締め込みま
す。

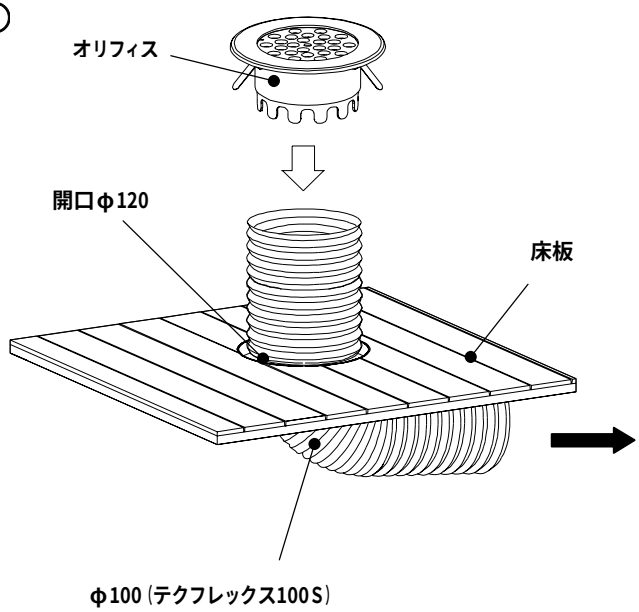
③



天井が仕上がった後ツメ（3ヶ所）を
内側に軽く曲げ、オリフィスを
開口に挿入して完成です。

吸気口（オリフィス）の取付け手順＜床面納まりの場合＞

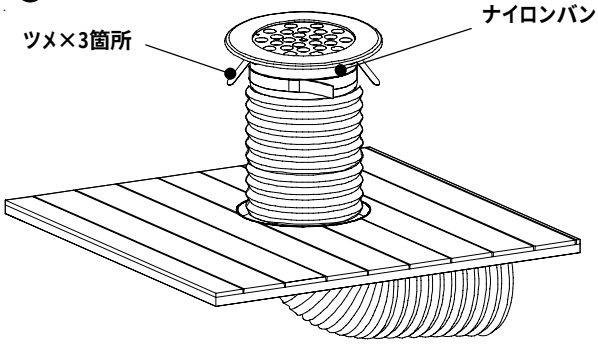
①



床張り後（床面仕上げ後）φ120mmの穴を開けます。
開口からダクトを取り出してオリフィスを取付けます。

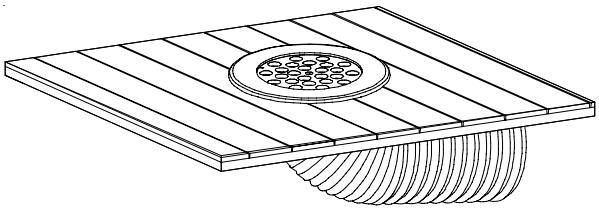
本体及びY型チャンバーNに接続

②



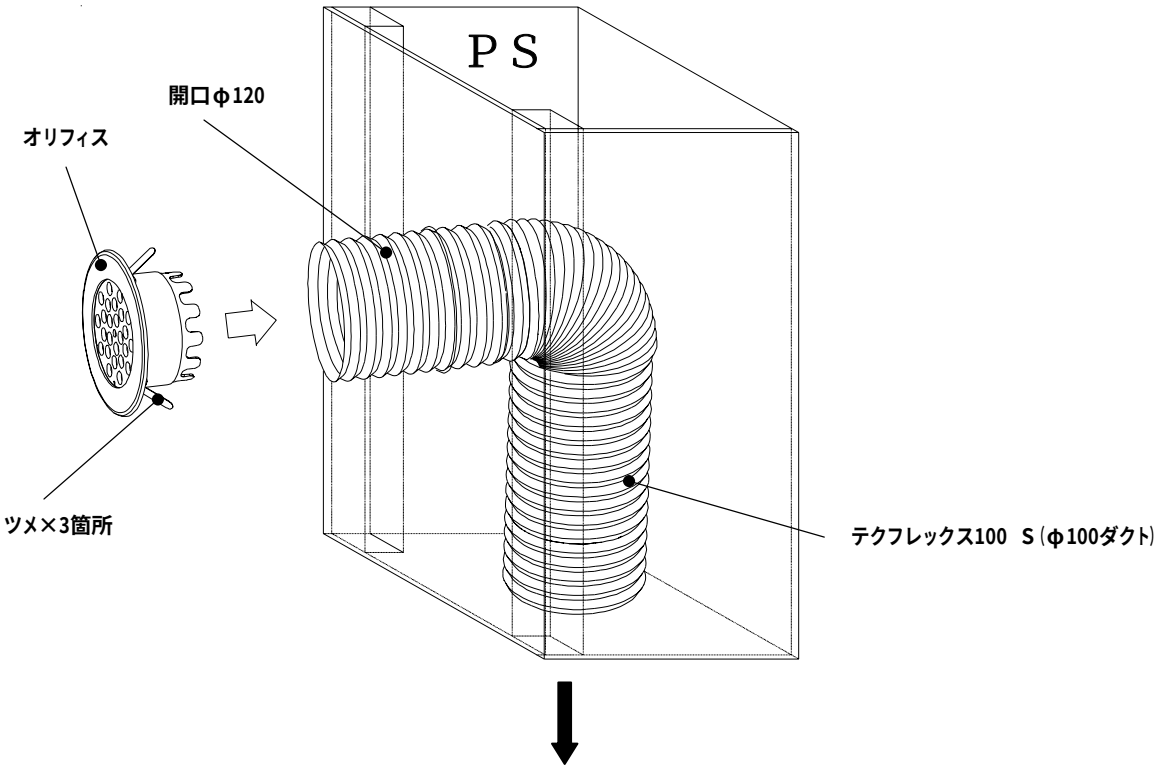
オリフィスとダクト（φ100：テクフレックス100　S）をテープで処理し、さらにその上からナイロンバンド100で固く締め込みます。

③



床（フロア材）が仕上がった後
ツメ（3ヶ所）を内側に軽く曲げ、
オリフィスを開口に挿入して
完成です。

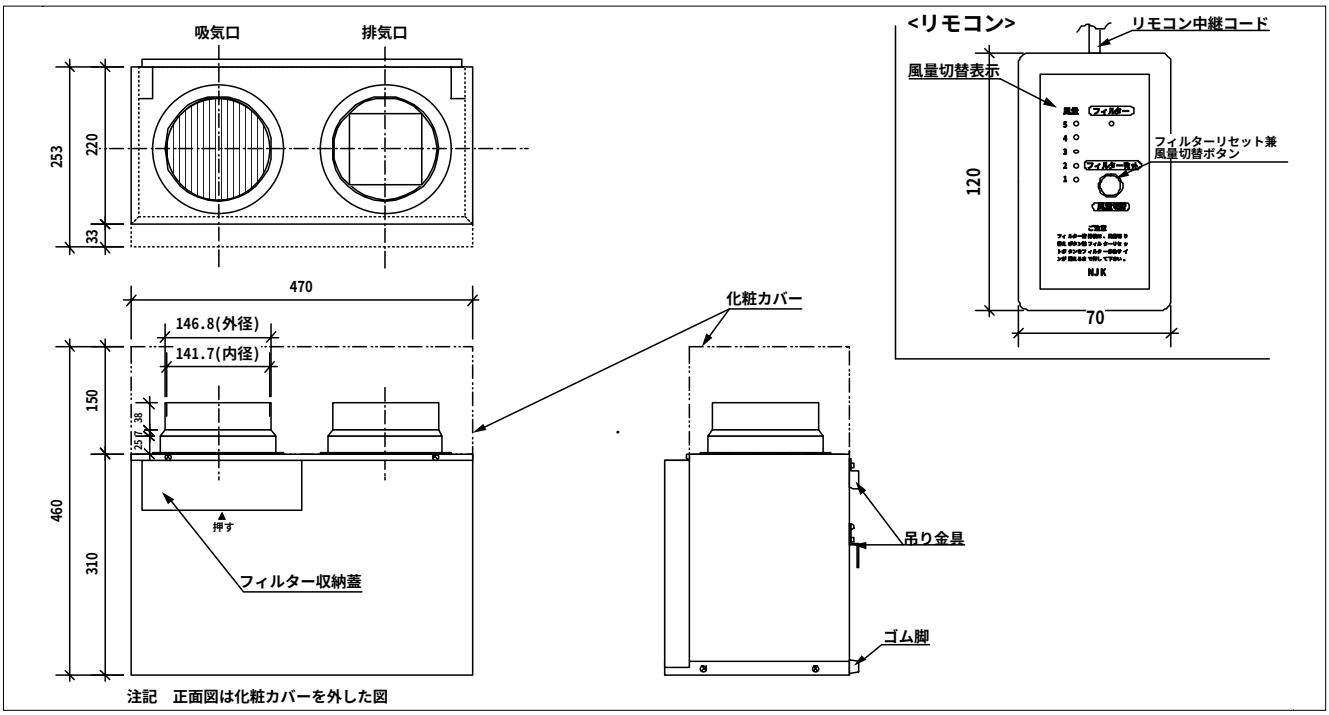
※壁面納まりの場合はパイプシャフトを設けてください。
（詳しい施工手順は4ページの天井納まりの取付手順を参考にして下さい）



Y型チャンバーN又は、ファン本体へ

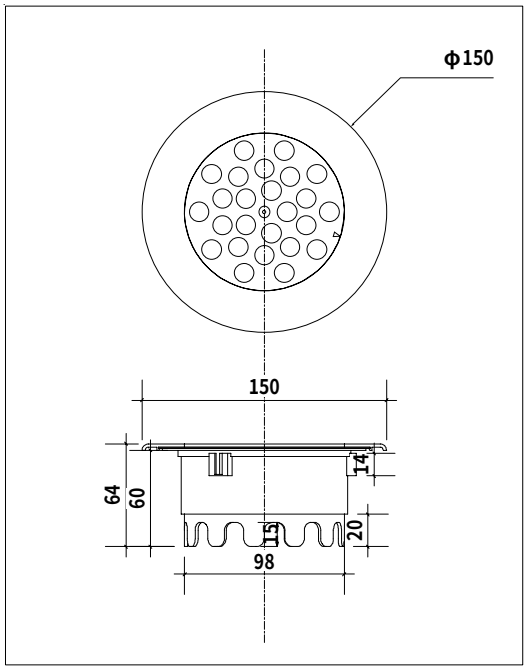
★★★★★★ < 寸 法 図 >★★★★★★

換気ファン <NJ-400DC>

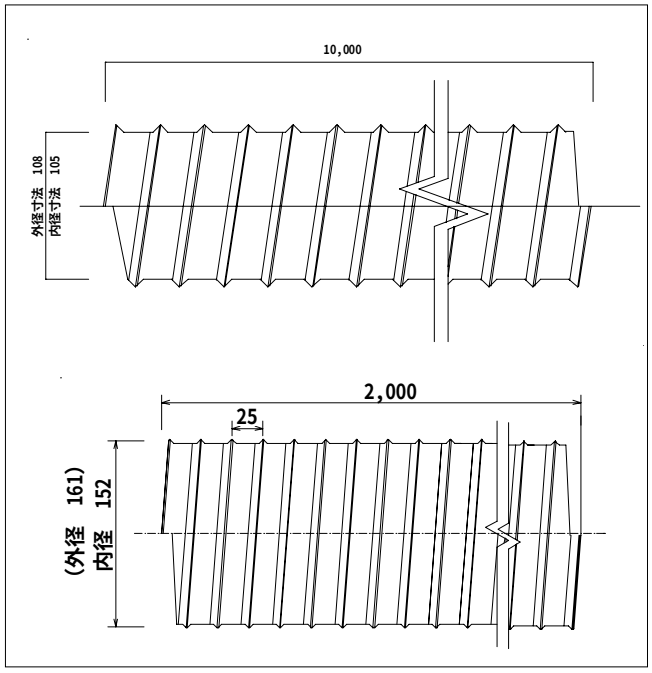


注記　正面図は化粧カバーを外した図

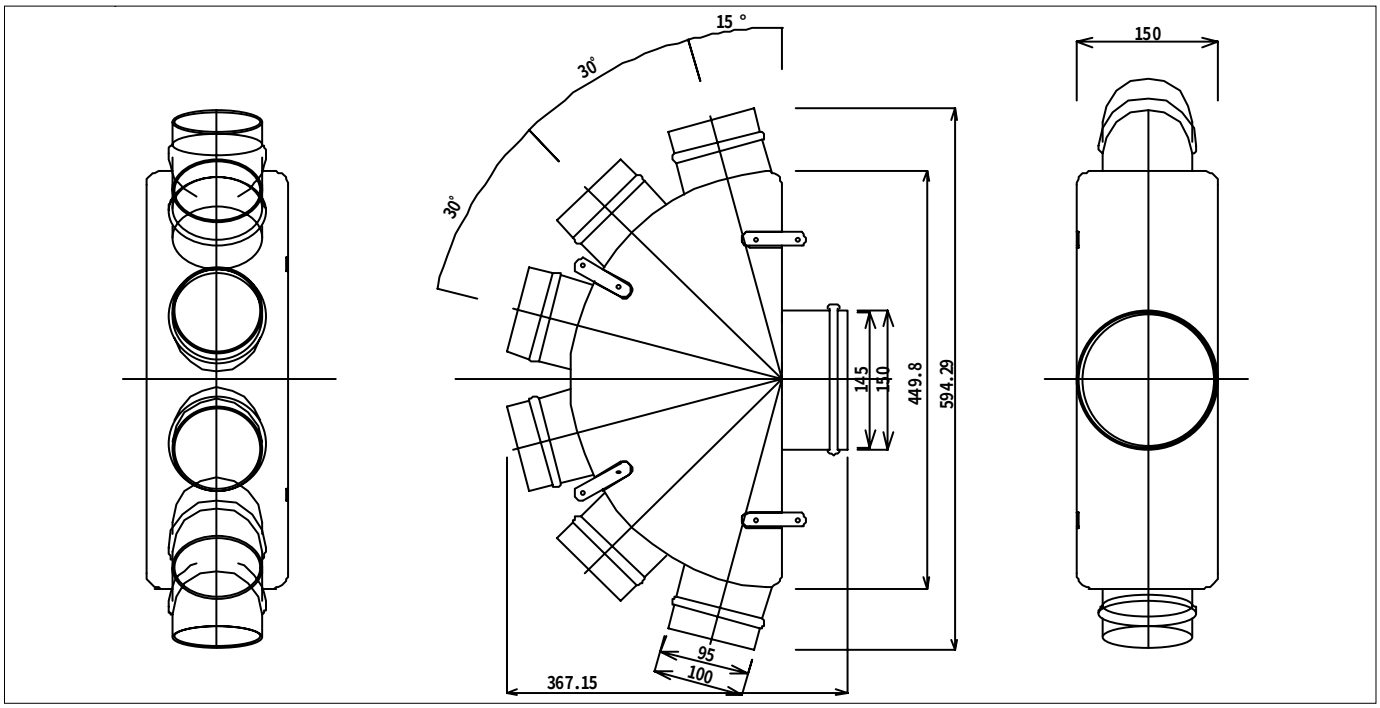
オリフィス
<吸気グリル>



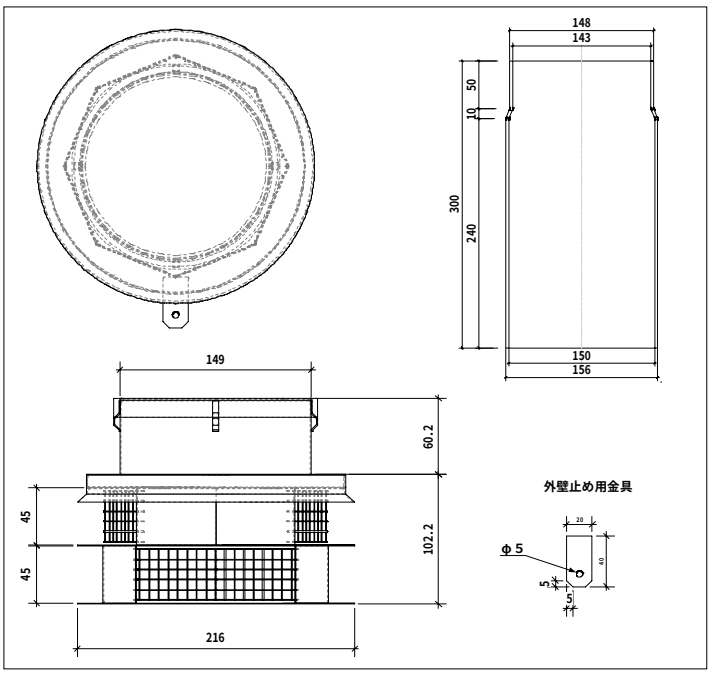
テクフレックス100 S / 150
<100φ吸気ダクト/150φ排気ダクト>



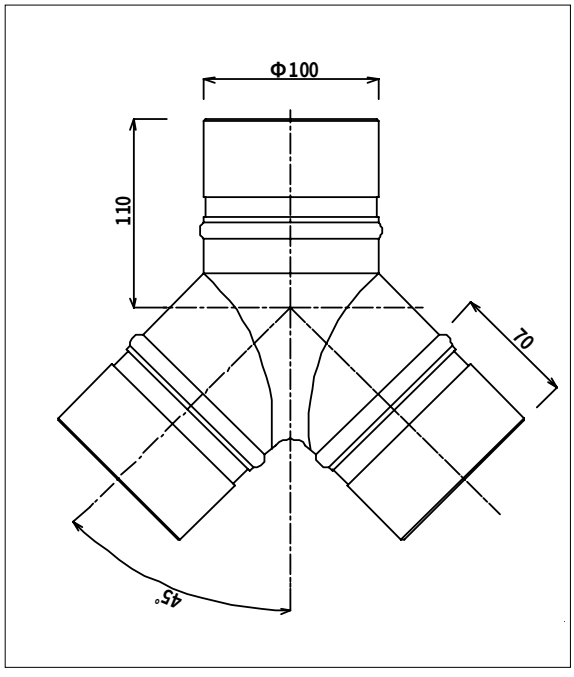
UチャンバーN150＜分岐チャンバー＞



エアロビット150＜壁排気フード＞



Y型チャンバーN＜分岐管＞



住まいの品質を考える
日本住環境株式会社

東京本社 〒110-0016 東京都台東区台東2丁目27番3号 NSKビル6F TEL(03)5807-3434(代)
東京営業部 〒110-0016 東京都台東区台東2丁目27番3号 NSKビル6F TEL(03)5807-3433(代)
札幌支店 〒060-0001 札幌市中央区北1条西5丁目2番地 興銀ビル6F TEL(011)222-6330(代)
東北支店 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3丁目37番地1 フォンテーヌS・T2F TEL(022)371-3717(代)
北関東営業所 〒333-0801 川口市東川口2-3-6 グローバルビルディング 203号室 TEL(048)290-6220(代)
新潟営業所 〒950-0965 新潟市新光町5-1 千歳ビルディング6F TEL(025)285-8910(代)
長野営業所 〒381-2203 長野市真島町川合335-1 長野合同オフィス3F TEL(026)285-6922(代)
名古屋営業所 〒465-0024 名古屋市名東区本郷3-5 グロウバルビル3F TEL(052)760-2801(代)
大阪営業所 〒550-0005 大阪市西区西本町1-10-10 オーエックス西本町ビル2F TEL(06)4391-5356(代)
九州営業所 〒813-0062 福岡県福岡市東区松島3-27-15 TEL(092)623-0612(代)
URL http://www.njkk.co.jp